

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターポッポ					公表日	2026/3/23
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・中庭を利用したり、2クラスが同じ療育時間であれば交代で使用するなどの工夫をしている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・指定基準より多く職員を配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・遊びと生活で部屋を分けたり、パーティションを使用するなどして活動を分かりやすくしている。 ・必要に応じて、グループで使う棚や下駄箱に個別のマークを貼り、分かりやすくしたり、その日の取り組みを写真や絵で伝えたりするなどの配慮をしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・療育終了後には清掃を行い、週1回は普段行き届かない箇所の掃除も行う。 ・大型マットやトランポリン、すべり台や吊りブランコなど、他児と一緒に体を使った遊びが楽しめる部屋（空間）がある。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・子どもの状況に合わせて使用できる部屋がある。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・療育に関してはグループの職員全体で話し合いの場を設けている。 ・職員会議等で業務運営に対して意見を交わす場を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・利用者満足度調査を実施し、その集計結果といただいたご意見はファイルに綴じ、閲覧できるようにしている。 ・ご意見の中ですぐに対応ができることに関しては速やかに行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員会議等で業務運営に対して意見を交わす場を設け、改善につなげている。	・積極的な意見交換ができるように取り組んでいく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・運営の基本姿勢として反映させている。 ホームページにも公表している。 ・市内の児童発達支援センター同士でそれぞれの運営を1年に1回チェックしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・内部研修だけでなく、外部研修への参加の機会も確保している。	・さらに研修機会増やし、力量を高めていく必要がある。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・毎年、公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・子どもと保護者のニーズをもとに全体像を一致させ、作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・グループで“子どもにとって”という観点を大切に意見を出し合い、検討している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・支援計画をもとに、毎回の活動内容を検討している。	・計画内容が十分に活動に活かされるよう取り組んでいく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・共通した項目をベースにアセスメントを行い、日々の観察ややりとりを通じて、子どもの状態や特性を確認している。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・「発達支援」を中心に、「保護者支援」「地域支援」という項目にも具体的な支援内容を記述するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・グループ職員で活動を振り返りながら、次の活動内容を考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・子どもの姿に合わせて、活動内容を検討している。（意図的に繰り返すことはある。）	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	・小集団の遊びを大切にしているが、状況に応じて個別対応をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・打ち合わせの中で活動の確認や関わりで大切にしたいことを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・療育後には振り返りを行い、子どもの様子や気づきを共有し、次の活動内容に反映させている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・漏れなく、記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的にモニタリングを行い、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・移行時には、子どもの姿や支援内容等の共有をしている。（できるだけ訪問をして、伝達をしている。その後は必要に応じて、電話で連携している。）	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・希望される方には引き継ぎ文書を作成している。また、発達相談の結果も同様に書面にし、お渡ししている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0	・他の児童発達支援センターと連携し、「発達支援アドバイザー」として他事業所とのつながりをつくりながら、地域の療育の質が向上するように取り組んでいる。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	7	1	・参加させている。	・今後さらに系統だてた研修計画をたて、職員全体の力量を高めていく。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0	・北部の自立支援協議会をはじめ、北区子ども発達支援ネットワーク会議等に参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・併行通園児は日常、交流の機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・活動後に様子を保護者の方に報告したり、面談で確認したりするなどして共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・ペアレントトレーニングという名称ではないが、保護者グループで出された困りや悩みにこたえたり、関わりや子どもの捉え方について助言している。 ・年に2回外部から講師を招聘し、「子育て講演会」を開催している。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・子どもの願いを保護者の方とも確認し、支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者担当が中心になり、お話を傾聴し、相談に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・「父母の会担当」が活動のお手伝いをしている。 ・きょうだいのつどいを実施し、交流する機会をもっている。 ・同窓会をされる場合は部屋を貸し出している。	・保護者の方のつながりの機会をどのようにつくっていくのかについてご家族にアンケートをとり、今後のあり方について一緒に考えていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・適宜、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・活動内湯をホームページのブログに定期的にあげている。 ・1階ギャラリーに児童の作品等を展示している。	・インスタ等のSNSの活用を検討し、地域の方への発信に努めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・ルールに則り、適切に管理している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・個別対応をしたり、視覚的な手がかりを用いて伝えたりする等の工夫をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・北山ふれあいセンターまつり開催の一翼を担い、活動理解を図っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・年度初めにご家族に安全計画にまつわるマニュアル等を配布し、確認している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・面接時に確認し、各対応方法を全体で共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書をもとに対応している。また、朝礼で当日のアレルギーの有無を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・毎朝の朝礼で事例を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・年に1回以上研修している。	・今後も「虐待防止」「子どもの人権」について研修により力を入れていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		